

1. 学歴

- 1979年3月 一橋大学経済学部卒業
1979年4月 一橋大学社会学部学士入学
1981年3月 一橋大学社会学部卒業
1984年4月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程(地域社会研究専攻)入学
1986年3月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了(社会学修士)
1986年4月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程(地域社会研究専攻)進学
1989年3月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位修得・退学
2004年3月 一橋大学博士(経済学)学位取得

2. 職歴・研究歴

- 1981年4月 三菱電機株式会社勤務(1983年3月まで)
1989年4月 日本学術振興会特別研究員(1991年3月まで)
1991年4月 一橋大学経済学部専任講師
1994年4月 一橋大学経済学部助教授
1998年6月 一橋大学大学院経済学研究科教授
1999年8月 日本学術振興会特定国派遣研究員(中国華東理工大学応用社会学研究所客員研究員,
2000年2月まで)
2000年3月 スタンフォード大学アジア太平洋研究センター訪問研究者(2000年9月まで)

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

アジア経済概論, 地域経済概論 A・B, 地域研究の方法, 経済史入門

(b) 大学院

東アジア経済論, 東アジア経済特論, 地域研究方法論, ワークショップ・リサーチワークショップ(アジア地域経済)

B. ゼミナール

学部前期(基礎ゼミ), 学部後期, 大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部講義(科目番号 300 番台以下レベル)では, 中国経済論・中国現代経済史とアジア地域経済論を講じている。大学院基礎・学部上級科目(400番台科目)においては, 講義と受講者による研究発表を併用して, 300番台講義を発展させた内容を扱っている。大学院固有の500番台科目においては, いくつかのトピックを選んで最新の論文を輪読している。

学部ゼミナールの内容は、3 年次においては中国経済、開発経済学および移行経済論に関する和文・英文テキストの輪読を、また 4 年次においては卒業論文に向けての個人研究報告を主としている。大学院のゼミナールにおいては、各自の研究テーマに関する報告と最新の研究論文の輪読を並行して行っている。

4. 主な研究テーマ

- (1) 中国の体制移行・経済発展過程における所得分配と貧困
- (2) 中国農村におけるフォーマル・インフォーマルな制度形成と経済発展

この 2 つのテーマは相互に関連しており、中国・欧米の研究者との協力による複数の共同研究プロジェクトを通じて、定性的データ（聞き取り調査）と数量データ（世帯・村落調査データ）を組み合わせた分析に取り組んでいる。研究成果として、単著 2 冊（*The Growth of Market Relations in Post-reform Rural China*、『所得格差と貧困』、共編著 2 冊（『経済転型的代価』、*Unemployment, Inequality and Poverty in Urban China*）と数本の論文（1998 年以降の各論文）を発表している。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

『中国八路軍新四軍史』（穴戸寛ほかと共著）河出書房新社，1989 年，569 頁。

The Growth of Market Relations in Post-reform Rural China: A Micro-Analysis of Peasants, Migrants and Peasant Entrepreneurs, London: RoutledgeCurzon, 2003, 240 pp.

『所得格差と貧困』（シリーズ現代中国経済 7）名古屋大学出版会，2003 年，248 頁。（2004 年度発展途上国研究奨励賞対象著作）

『経済転型的代価：中国城市失業，貧困，収入差別的経験分析』（李実と共編著，中国語），北京，中国財政経済出版社，2004 年，413 頁。

Unemployment, Inequality and Poverty in Urban China (Li Shi と共編著), London: Routledge, 2006, 352pp.

(b) 論文（査読つき論文には*）

* 「陝甘寧辺区の農村労働英雄と基層指導部 延安期の大衆路線」『中国研究月報』第 432 号，1984 年，2-21 頁。

「農村変革と村落形成 陝北農村の事例から」小林弘二編『中国農村変革再考』アジア経済研究所，1987 年，111-158 頁。

* 「抗戦・家庭・生産 華北抗日根据地の事例」『季刊中国研究』第 11 号，1989 年，33-60 頁。

* 「八路軍の民衆動員 兵役動員をめぐって」『現代中国』第 63 号，1989 年，67-71 頁。

「中国農村の『貧困と開発』 貧困地域をめぐる議論と政策展開」小林弘二編『中国の世界認識と開発戦略』アジア経済研究所，1990 年，227-296 頁。

* 「中国農村における地域間所得格差とその決定要因」『アジア研究』第 37 巻第 1 号，1990 年，73-107 頁。

「地域間格差と貧困地区開発」『中国の農業』国際農林業協力協会，1991 年，123-138 頁。

* 「経済調整下の郷鎮企業の動向と役割 無錫県 H 鎮村営企業の事例調査」（大島一二と共同執筆）『アジア経済』第 33 巻第 2 号，1992 年，42-57 頁。

「中国の経済改革と農民意識 沿海先進地域の事例」『一橋論叢』，107 巻第 4 号，1992 年，499-514 頁。

* 「農村財政と郷鎮企業識 無錫県 H 鎮の実態調査を中心に」（大島一二と共著）『現代中国』第 66 号，1992

年。

「陝北農村社会与中国共産党」南開大学歴史系編『中外学者論抗日根据地』档案出版社, 1993年, 530-534頁。

* 「華南地域における出稼ぎ労働者の実態 広東省宝安县 M 電子廠の場合」(加藤弘之・大島一二と共著)『アジア研究』第40巻第1号, 1993年, 53-94頁。

「経済的分化と農民意識 中国3県農家調査の分析」『アジア経済』第35巻第1号, 1994年, 2-26頁。

* 「中国農村経済の市場化と郷鎮企業供銷員の役割 蘇南および温州における実態調査から」(大島一二と共著)『農村研究』第79号, 1994年, 95-106頁。

「浙江省温州における地域経済の市場化とその担い手 企業経営者調査から」『中国経済』第342号, 1994年, 16-38頁。

"Market Conversion in Wenzhou, Zhejiang Province," *China Newsletter*, No.112, 1994, pp.6-15.

「農村における民営企業家の形成 市場化の担い手」加藤弘之編『中国の農村発展と市場化』世界思想社, 1995年, 111-141頁。

「農村における所得分配 内陸農村と沿海農村」加藤弘之編『中国の農村発展と市場化』世界思想社, 1995年, 142-172頁。

* 「浙北農村経済発展と農戸経済」(厳善平・大島一二と共著)『経済発展研究』1995年第2期, 33-45頁。

「珠江デルタ日系企業における中国人従業員の实態 アンケートにみる中国人従業員の意識と階層性」(大島一二・加藤弘之と共著)『中国経済』第355号, 1995年, 12-37頁。

「中国の経済改革と農村組織」『一橋論叢』第115巻第6号, 1996年, 1139-1159頁。

「農村における所得分配と貧困問題」国際農林業協力協会編『中国の農林業 現状と開発の課題』, 1996年, 132-146頁。

「当代中国農村的経済市場化と民営企業家 浙江省温州農村調査報告」南開大学歴史系中国現代史研究室編『二十世紀的中国農村社会』中国档案出版社, 424-430頁。

「村落レベルの所得分配 4県農家調査の分析」中兼和津次編『改革以後の中国農村社会と経済 日中共同調査による実態分析』筑波書房, 1997年, 130-160頁。

「経済構造と村落政治 4県農家調査の分析」中兼和津次編『改革以後の中国農村社会と経済 日中共同調査による実態分析』筑波書房, 1997年, 408-430頁。

「人民公社制度下における農家所得形成と所得分布 浙北養蚕地域のマイクロデータによる検討」『一橋論叢』第118巻第6号, 1997年, 831-853頁。

* 「中国人民解放軍の農村的基盤 実地調査による試論」『アジア研究』第43巻第2号, 1997年, 1-34頁。

「中国の経済発展と所得分布 研究史の整理と展望」『シリーズ中国領域研究』第4号, 1997年, 37-43頁。

"Income Generation and Access to Economic Opportunities in a Transitional Economy: A Comparative Analysis of Five Chinese Villages," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 39, No.2, 1998, pp.127-144.

「経済改革と所得分布変動 市場化の分配的帰結」中兼和津次編『現代中国の構造変動 2 経済-構造変動と市場化』東京大学出版会, 2000年, 157-186頁。

「出稼ぎ農民は職場をどのように歩いているか」大島一二編『中国進出日系企業の出稼ぎ労働者 実態調査にみるその意識と行動』芦書房, 2001年, 17-41頁。

「中国沿海部の郷鎮企業改革と経営者の行為様式 蘇南・温州モデル再考」『一橋論叢』第115巻第6号, 2001年, 598-614頁。

「雲南農村における市場と商人 石林県板橋郷・圭山郷集市調査」中兼和津次編『中国農村経済と社会の変動』御

茶の水書房, 2002年, 259-287頁。

「失業与再就業的行為变量与意向变量關係」李実・佐藤宏編著『經濟転型の代価：中国城市失業，貧困，收入差
距の経験分析』中国財政經濟出版社, 2004年, 137-158頁(中国語)。

「外出務工，謀職和城市労働力市場 市場支掌机制的社会網絡分析」李実・佐藤宏編著『經濟転型の代価：中国
城市失業，貧困，收入差距の経験分析』中国財政經濟出版社, 2004年, 372-390頁(中国語)。

* "Can a Subjective Poverty Line Be Applied to China?: Assessing Poverty Among Urban Residents in 1999," (joint
with Björn Gustafsson and Shi Li), *Journal of International Development*, Vol 16, No.8, 2004, pp.1089 - 1107
(reprinted in Li Shi and Hiroshi Sato (eds.) *Unemployment, Inequality and Poverty in Urban China*, London:
Routledge, 2006, pp. 152-172).

「村落經濟の変動と農家所得」田島俊雄編『構造調整下の中国農村經濟』東京大学出版会, 2005年, 185-204頁。

「中国農村における税制改革と所得分配」『成城大学經濟研究所年報』第18号, 2005年, 109-121頁。

* 「中国農村税賦的再分配効応 1995-2002:世紀之交農村稅費改革的評價」(李実・岳希明と共著)『經濟學報』
第2卷第1輯(總第3期)(清華大学經濟管理学院), 2006年, 153-173頁(中国語)。

* "From "Work Unit Socialism" to a Stratified Labour Market," in Li Shi and Hiroshi Sato (eds.) *Unemployment,
Inequality and Poverty in Urban China*, London: Routledge, 2006, pp. 175-211.

* "Housing Inequality and Housing Poverty in Urban China in the Late 1990s," *China Economic Review*, Vol.17, No.1,
March 2006, pp.37-50.

"Party Membership in Post-reform China: Age, Educational Attainment, and Professional Competency," (joint with
Keiya Eto), in Tomoyuki Kojima and Katsuji Nakagane (eds.) *Restructuring China*, Tokyo: Toyo Bunko,
forthcoming in January 2007.

* "The Impact of Village-Specific Factors on Household Income in Rural China," in Björn Gustafsson, Li Shi, and
Terry Sicular (eds.) *Inequality and Public Policy in China*, Cambridge: Cambridge University Press, forthcoming
in August 2007.

* "The Redistributive Impact of Taxation in Rural China, 1995-2002," (joint with Li Shi and Yue Ximing), in Björn
Gustafsson, Li Shi, and Terry Sicular (eds.) *Inequality and Public Policy in China*, Cambridge: Cambridge
University Press, forthcoming in August 2007.

(c) 翻訳

C. ブランデン, M. エルビン 『図説世界文化地理百科 中国』朝倉書店, 1988年(戴國輝・小島晋治・阪谷芳直
編訳, 分担翻訳)。

アニタ・チャンほか 『チェン村 中国農村の文革と近代化』筑摩書房, 1989年(小林弘二監訳)。

S. ウィットワール 『10億人を養う』農山漁村文化協会, 1989年(阪本楠彦監訳)。

H. ソールズベリー 『リトルエンペラー』ベネッセ, 1994年(天児慧監訳)。

(d) その他

『アジア諸国における經濟システム移行と都市下層・辺縁層の対応』科学研究費補助金基盤研究(C)(2) 13630043
研究成果報告書, 2004年3月, 250頁。

「パネル討論 格差社会の構造と変貌:ミクロ・データによる実証分析」(加藤弘之・薛進軍・嚴善平と共著)『中国經
濟研究』第2卷第2号, 2005年, 54-77頁。

「中国農村税賦的再分配効応:世紀之交農村稅費改革的評價」(李実・岳希明と共著)『北京大学中国經濟研究中

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表

- "Good village governance, rich village social capital and higher peasant income? "and" From informal taxation without representation to formal taxation with representation?: evaluation of the effects of the rural tax & fees reform and the reform of village self-government on peasant income," Workshop on Income Distribution, Growth and Public Policy in China, the Institute of Economics, Chinese Academy of Social Sciences, October 19-20, 2002(中国社会科学院経済研究所, 2002年10月19-20日)
- "Housing Opportunity in Urban China," Workshop for the Study on China's Newly Emerging Systems of Politics and Economy, January 11-13, 2003(慶應義塾大学, 2003年1月11-13日)
- 「中国の所得格差と貧困」, 東アジアワークショップ「開発とケイパビリティ」(山口大学大学院東アジア研究科・経済学部, 2003年11月21日)
- "Micro Political Economy of Rural Taxation," 2nd Workshop for the Study on China's Newly Emerging Systems of Politics and Economy, Oberlin College, January 10-11, 2004(オベリン大学, 2004年1月10-11日)
- 「中国農村税費改革と収入分配」(中国社会科学院経済研究所, 2004年2月2日)
- 「農民負担のミクロ政治経済学」, 日本中国経済学会全国大会「パネル討論」(桃山学院大学, 2004年6月20日)
- "Growth and Income Disparity among Chinese Villages 1990-2002," Workshop on Income Inequality and Public Policy in China held at the Institute of Economics, Chinese Academy of Social Sciences, September 10-11 (中国社会科学院経済研究所, 2004年9月10-11日)
- "Redistributive Impact of Taxation in Rural China, 1995-2002: An Evaluation of Rural Taxation Reform at the Turn of the Century," (joint with Li Shi and Yue Ximing) Workshop on Income Inequality and Public Policy in China held at the Institute of Economics, Chinese Academy of Social Sciences, September 10-11 (中国社会科学院経済研究所, 2004年9月10-11日)
- "Rural Governance in the " Post-Agricultural Tax "Era" Workshop on Politico-Social Governance and Institutionalization in China, Maholova Minds Miura, January 5, 2006 (慶應義塾大学総合政策学部, 2006年1月5日)
- "The Impact of Village-Specific Factors on Household Income in Rural China" 比較体制学会全国大会 (一橋大学, 2006年6月11日)
- "Public Goods Provision and Rural Governance" Beijing Forum 2006 "The Harmony of Civilizations and Prosperity for All", co-hosted by Peking University and Beijing Municipal Commission of Education, October 27-29, Great People' Hall and Peking University (北京大学, 2006年10月27-29日)
- "中国的基層民主与管理" 経済学論壇系列講座 (北京大学経済学院, 2006年11月1日)

(b) 国内研究プロジェクト

- 「研究総括と中国における調査」日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)(2)「アジア諸国における経済システム移行と都市下層・辺縁層の対応」(No.13630043), 2001 - 2003年度, 研究代表者。
- 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「東・東南アジアの貧困問題と潜在能力アプローチに関する研究」(No.13630041), 2001 - 2002年度, 研究分担者(研究代表者:池本幸生)。
- 「中国にかんする歴史 GIS の構築」日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「アジア地域における歴史 GIS の構築」(No.14390004), 2002 - 2004年度, 研究分担者(研究代表者:後藤寛)。

- 「中国の所得分配と貧困」日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「貧困問題への潜在能力アプローチの応用に関するアジアとアフリカの比較研究」(No.15330049), 2003 - 2005 年度, 研究分担者(研究代表者:池本幸生)。
- 「中国農村における"成長の質"に関する研究」東京大学東洋文化研究所班研究「アジア・アフリカの貧困と開発の再検討」(No.15330049), 2004 年度 -, 研究分担者(研究代表者:池本幸生)。
- 「中国農村における社会経済変動のミクロ的研究」(財)東洋文庫超域アジア研究部門「現代中国研究」, 2003 年度 -, 兼任研究員(研究代表者:中兼和津次)。
- 「世帯調査データの分析」日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)(2)「エジプト社会経済関係基礎データの蓄積と学際的分析 - 世帯調査とGISの結合を中心に」(No.16203018), 2004 年度 -, 研究分担者(研究代表者:加藤博)。
- 一橋大学大学院経済学研究科現代経済リサーチネットワークプロジェクト, 2004 - 2005 年度, 学内研究分担者(研究代表者:加藤博)。
- 一橋大学研究プロジェクト助成「アジア地域における『グローバル化』:過去から見た現在,現在から見た過去」, 2004 - 2005 年度, 学内研究分担者(研究代表者:江夏由樹)。

(c) 国際研究プロジェクト

- 「農民所得と社会変動」科学研究費補助金基盤研究(A)(1)「中国農業・農村の経済構造と社会変動 - 農家追跡調査にもとづくパネル分析」(No.12372003), 2000-2002 年度, 研究分担者(研究代表者:田嶋俊雄)。
- 「経済変動と農家所得」科学研究費補助金基盤研究(A)(1)「中国農業・農家の経済計算と所得分配 - 農家個票調査と地域統計にもとづく社会経済分析」(No.15252007), 2003-2005 年度, 研究分担者(研究代表者:田嶋俊雄)。
- 「農村の社会経済学」科学研究費補助金基盤研究(B)「中国における新たな政治経済体制とその変動モデルに関する研究」(No.14390049), 2002-2004 年度, 研究分担者(研究代表者:小島朋之)。
- "Income Distribution, Growth and Public Policy in China: An Empirical Analysis" フォード財団助成研究, 2002-2003 年, 研究分担者(研究代表者:Terry Sicular)。
- 「中国の農村ガバナンス」科学研究費補助金基盤研究(B)「中国における政治的社会的ガバナンスと制度形成に関する国際共同研究」(No.17310146), 2005-2007 年度, 研究分担者(研究代表者:小島朋之)。
- 「農村における貧困率および所得分布の推計」科学研究費補助金基盤研究(A)「中国農村における貧困発生メカニズムとその対策にかんする社会経済的研究」(No.17252003), 2005-2008 年度, 研究分担者(研究代表者:中兼和津次)。
- 「研究総括」科学研究費補助金基盤研究(A)「メゾレベルの制度変化と福祉:アジア・アフリカ地域における市場化の比較研究」(No.18203018), 2006-2008 年度, 研究代表者。
- 「流通・市場に関する調査」「アジアの中の中東:経済と法を中心に」文部科学省委託事業「世界を対象としたニーズ対応型地域研究」, 2006 - 2010 年度, 研究分担者(研究代表者:加藤博)。

C. 受賞

発展途上国研究奨励賞 (アジア経済研究所, 著書『所得格差と貧困』名古屋大学出版会, 2003 年に対して), 2004 年。

6. 学内行政

(b) 学内委員会

経済学研究科大学院教育専門委員(2004年4月-2006年3月)

7. 学外活動

(a) 他大学講師等

成城大学経済学部非常勤講師(2004年度)

財団法人東洋文庫 兼任研究員(2004年度4月-9月)

財団法人東洋文庫 研究員(2004年9月-)

(b) 参加学会および学術活動

アジア政経学会

中国経済学会

比較経済体制学会

(d) その他

「世界を知る」市民講座(日野市公民館, 2006年3月)

9. 一般的言論活動

NHKスペシャル「63億人の地図」第8回「中国 豊かさへの模索」(2004年10月放送), 監修。